

施策カルテ

1 施策の位置付け

担当課 保健福祉総務課

総合計画 政策の柱	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	都市の福祉力を高める	取組の 基本方向	「都市の福祉力を高める」ため、福祉教育等により地域の人材育成を図るための「市民の福祉活動への参画促進」、市民の保健・福祉ニーズに迅速かつきめ細かに対応する双方からノーマライゼーション（等しく生きる社会）の実現を図るための「ユニバーサルデザインの推進」、適切な施設サービスを提供するための「社会福祉施設の充実」、住み慣れた地域において、自立した生活を送る環境をつくるための「保健・福祉サービス基盤と支援機能の充実」に重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	充実した保健・福祉サービスにより、住み慣れた地域において自立した生活を送っています。
--------------	---------------------------	----------------	------------	-------------	--	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	社会福祉施設の充実		④ 施策の達成状況	施策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)		
	②施策目標	市民が福祉施設において、ニーズに応じた質の高いサービスを利用しています。		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値				
	③施策を 取巻く環境	国・県等の動向		経済危機対策臨時交付金により、保育所の整備や介護保険関係施設の整備支援のための体制整備が行われている。障がい福祉分野においては、障害者自立支援法移行への猶予が平成23年度末までとなっている。また、自立支援法の見直しの動きもある。	指標① (総合計画に基づく指標)	小規模多機能居宅介護事業所の整備率	-----	24	36	69		100	100
		外部意見 その他		高齢者の入所施設については、平成21年度の指定介護老人施設入所申込者実態調査の結果において入所待ち(待機者)が多数存在しているというものであり、また、市民や議会からも施設整備の要望が出ているものである。	指標②		9.5	24	28				-----
指標③													
⑤ 市民意識調査結果	市民の 施策満足度	20.3%	市民の 施策重要度	70.6%	⑥ 施策の評価	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	● 概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	一定の施設整備は進んでいるが、小規模多機能や保育所については、事業者の確保を進める必要がある。	⑦ 現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)	成果が見られる点 改善の必要な点
			必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している		● 横ばい	● 減少している	説明	老人福祉施設や保育所整備については、待機者の解消がされていない現状があることから、十分なサービス提供体制を確保するため、引き続き必要な支援を行い、施設整備を促進する必要がある。				
			適切性 (適切な事務事業の選択、実施)	● 十分である		● 不十分な事業が一部ある	● 不十分な事業が複数ある	説明	待機者解消のため、施設整備は急務であり、継続して実施して行く必要がある。				
			有効性 (政策目標への効果)	● 十分である		● やや不十分である	● 不十分である	説明	適切な施設サービスを受けられるよう施設整備することは、福祉力の向上につながり効果をあげているものである。				
													市民が住み慣れた地域において適切な施設サービスを安心して受けられるようにするため、各種福祉施設の整備を促進したことにより、利用者の受入れ定員が増えた結果、待機者の減少が図られた。
													より計画的かつ円滑に、各整備計画に基づき事業を推進するため、引き続き事業者への支援や施設整備の進捗確認を行う必要がある。

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	住み慣れた地域において、自立した生活を送るための環境整備に向けては、施設サービス提供体制の確保が重要であることから、国の補助制度等を積極的に活用し、各種計画に基づく施設整備を推進する。	⑨政策評価 会議意見
	重点事業	待機者解消や安全性の確保のため、「介護施設整備等補助金」、「老人福祉施設整備費補助金」、「老人福祉施設小規模整備費補助金」等により、事業者の質の確保も考慮しつつ計画的に施設整備を進めるとともに、老朽化にも対応していく。	
	見直し事業	「老人福祉施設整備費補助金」において、平成24年度からの、第5期介護保険事業計画を見据えながら、適切かつ効果的な整備を検討していく。	
<ul style="list-style-type: none"> 進捗状況は28%と低い数値にとどまっている。住み慣れた地域で自立した生活を送るため、十分な施設サービス提供体制の確保は重要であるため、今後より一層計画的な施設整備を推進する。 待機者解消に向け、事業者の質の確保も考慮しつつ計画的に施設整備を進めるとともに、老朽化にも対応していく。 平成24年度からの、第5期介護保険事業計画を見据えながら、適切かつ効果的な整備を検討する必要がある。 			

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H20	H21	H20	H21	重点度 (A~C)	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	介護施設整備費等補助金 担当課 保健福祉総務課	社会福祉法人等	H18	地域密着型サービス事業所整備数 スプリンクラー設置整備数	6	7	94,000	50,576	A	継続	地域密着型サービス事業所の整備について、平成22年度から整備補助金の上乗せや運営にかかる開設準備交付金の創設を踏まえ、事業者参入を進める。スプリンクラー設置整備については、昨今の社会情勢等から事業者が積極的に設置整備を検討していることから、円滑に整備できるよう支援していく。
					4	5					
2	老人福祉施設整備費補助金 担当課 保健福祉総務課	社会福祉法人	H8	補助交付件数	1	0	217,450	0	A	見直し	第4期介護保険事業計画(H21~23)に基づき介護サービスに係る基盤整備の一環として、引き続き施設整備を推進する。また、施設規模や施設形態、法人の運営効率等を総合的に勘案し、適正な補助単価の設定について見直しを図る。
					1	0					

様式 2

3	ちとせ寮・松原荘再整備補助金		社会福祉法人	H20	建設進捗率	—	30	0	53,525	A	継続	平成23年度の供用開始に向け、引き続き関係者との協議・調整を行い、ハード・ソフトの両面から進行管理を行う必要がある。
	担当課	保健福祉総務課・高齢福祉課				—	4					
4	老人福祉施設小規模整備費補助金		社会福祉法人	H8	補助交付件数	1	1	4,525	2,112	B	継続	施設の老朽化が進行する中、施設環境の向上を図るため、引き続き本事業を継続する。
	担当課	保健福祉総務課				2	1					
5	老人福祉施設利子補給金		社会福祉法人	H8	補助交付件数	19	18	14,205	8,450	B	継続	施設整備の建設費借入に係る支払利子の財源として、介護報酬が充当可能になったことに伴い、介護保険適用施設については平成22年度をもって廃止とするが、今後は介護保険適用外施設については、継続して支援を行っていく。
	担当課	保健福祉総務課				19	18					
再掲	児童福祉施設整備費補助金		社会福祉法人	H8	補助金交付件数	2	2	—	—	—	継続	待機児童解消のための保育所整備は急務であることから、保育園の整備方針整備計画に基づき、施設整備を促進する。
	担当課	保健福祉総務課				1	1					
再掲	児童福祉施設小規模整備費補助金		社会福祉法人	H8	補助金交付件数	4	4	—	—	—	継続	多様化する保育ニーズに対応した保育サービスを確保することは重要であることから、老朽化への対応など施設環境の向上を図る。
	担当課	保健福祉総務課				1	3					
再掲	児童福祉施設利子補給金		社会福祉法人	H8	補助金交付件数	11	11	—	—	—	継続	待機児童解消のための保育所整備は急務であることから、施設整備の促進と施設の安定的な運営のために助成を行う。
	担当課	保健福祉総務課				11	14					
再掲	障がい者福祉施設整備費補助金		社会福祉法人	H8	補助金交付件数	5	7	—	—	—	継続	障がい者が住み慣れた地域において安心した生活を送ることができる環境を引き続き整備する必要があることから、関係課と連携を取りながら課題解決に向けて検討を進めていく。
	担当課	保健福祉総務課				4	7					
再掲	障がい者福祉施設小規模整備費補助金		社会福祉法人	H8	補助金交付件数	1	1	—	—	—	継続	施設の老朽化が進行する中、施設環境の向上を図るため、引き続き本事業を継続する。
	担当課	保健福祉総務課				0	1					
施 策 事 業 費 合 計								330,180	114,663			